PAT-NO:

JP02000245285A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000245285 A

TITLE:

BASKET FOR RAISING **ABALONE** LARVA IN SEA

PUBN-DATE:

September 12, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

YOSHIMI, KATSUUMI

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

YOSHIMI KATSUUMI

N/A

APPL-NO:

JP11099219

APPL-DATE:

March 1, 1999

INT-CL (IPC): A01K061/00, A01K063/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To resolve faults in an <u>abalone breeding</u>, formerly made a fish preserve with a gauze net and inserted a larva into a polymer sheet, that breaking of a sheet, hardly performing feeding, difficult for peeling work in transplantation, generating a bad yield and delaying growth, etc.

SOLUTION: A sheet bag 2 is extended in a cage 1 and a fan-like polyvinyl sheet 12 is bonded to a net 5 having seaweeds and fitted to a shelf board 4 and a belt board 7 is alternately provided, then a cover 9 having a cap 10 is fitted to the cage and the cage is fixed to a float with a rope 8, thus a charging pipe 11 is inserted into a cover in the sea and the cap, and a larva of **abalone** is charged and a vegetable plankton is poured into the cage, then the larva is activated and grown by oxygen released from the seaweed. After

the insertion, when the larva is inserted to the fan-like sheet, belt board and the shelf board instead of a gauze net, the inserted face is increased and the larva in grown by using attached diatom or the seaweed having a net as a feed without breaking. When the gauze net is removed and changed to the shelf board, etc., a labor of peeling work, etc., is saved and the objective larva breeder for <u>abalone</u> in the sea capable of consistently producing the <u>abalone</u> by feeding from the net having seaweeds and a pipe is obtained.

COPYRIGHT: (C)2000,JPO

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2000-245285 (P2000-245285A)

(43)公開日 平成12年9月12日(2000.9.12)

(51) Int.Cl.7

識別記号

FΙ

テーマコート*(参考)

A01K 61/00

63/00

A01K 61/00 63/00 E 2B104

審査請求 未請求 請求項の数1 台面 (全 4 頁)

(21)出願番号

特願平11-99219

(22)出頭日

平成11年3月1日(1999.3.1)

(71)出廢人 599018284

吉見 勝海

鹿児島県肝鳳郡東串良町川東3426番地

(72)発明者 吉見 勝海

鹿児島県肝恩郡東申良町川東3426番地

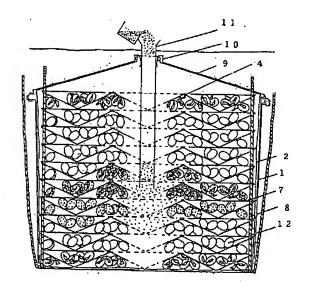
Fターム(参考) 2B104 AA27 DA01 DA04 DB04 DC07

(54) 【発明の名称】 海中アワビ幼生育成器

(57)【要約】

【課題】 モジ網で生けすを作り、幼生をボリシートに 着成させ、育成していたが、シートが破れる、給餌がし ずらく、移植時の剥離作業が困難で、歩留まりが悪く、 成長が遅くなる等の、欠点があった、

【解決手段】 カゴ1にシート袋2を張り、海藻付網5 に、団扇状のビニルシート12を括り、棚板4に取付、 帯板7と交互に設置、キャップ10を付けた蓋9を取 付、ロープ8で浮力体に固定し、投入パイプ11を海中 蓋、キャップに差し込み、アワビ幼生を入れ、植物プラ ンクトンを流し込めば、海藻の放出する酸素で、活性化 し、成長する、着生後、モジ網14に替え、団扇シー ト、帯板、棚板に着生すれば、着生面が増大し、破れる 事なく、付着珪藻、網付海藻を餌として育つ、モジ網を 外し、棚板等を交換すれば、剥離作業等の手間が省け、 海藻付網、パイプからの餌供給で、一貫生産出来る、海 中アワビ幼生育成器となる。



1

· 【特許請求の範囲】

【請求項1】海水遮断した器内を、植物プランクトン、 海水で満たし、アワビ幼生を投入用パイプで器内に入 れ、配合飼料を与え、育てる、海面育成器

【請求項2】海苔等の海藻の付着した、ロープ、網に、 団扇状のビニールを取付、棚板に取付、着生面の増大を 図り、成貝まで育てられる、アワビ育成器

【発明の詳細な説明】

【0001】本発明はカゴにシート袋を設置、棚板に海 藻付網を取付、網に団扇状のビニールを取付、帯板と交 10 互に器内に設置、海面で植物プランクトンと海水で満た し、アワビ幼生をパイプから流し込んで、配合飼料を入 れ幼生を育て、着生させ、網に付着した海苔を餌とし て、育てる、分養は、棚板、網の交換で済むので、剥離 作業をしなくて済み、剥離時の、ロスがなく、シート袋 を外し、モジ袋網に交換すれば、中間育成が出来、袋網 を外せば、成貝まで一貫生産出来る、海中アワビ幼生育 成器となる、

【0002】従来は、シート、モジ網で生けすを作り、 幼生を入れ、生けす内の、ポリシートコレクターに着生 20 させ、育成していたが、波浪で、シートが破れる、餌の 供給がしずらく、移植時の剥離作業が困難で、歩留まり が悪くなり、成長が遅くなる等の、欠点があった、

【0003】本発明は、カゴ1に海水遮断用シート袋2を設置、突起体3で止める、棚板4に海苔等の海藻が付着した、ロープ、網5を止める、突起部6を設け、帯板7と交互に組み合せ、設置する、8のロープは棚板を固定し、蓋9の穴に通し、全体を固定し、浮力体に連結する、蓋の脱着はバールで行ない、ボルト等で固定する、上蓋パイプ部に、ゴム製で切れ目を入れたキャップ1030を固着し、投入用パイプ11を差し込み、海水を流し込

み、アワビ幼生を入れ、着生するまで、植物プランクトン、配合飼料を流し込んで、育てる、ロープ、網には団 扇状ビニルシート12を、針金13で補強して、珪藻を 付着させ、取付る、着生後はシート袋を、モジ網14に 替え、網に付着した、海苔等の海藻を餌として、カゴ穴 以上に育てる、移植は、モジ網を外し、海藻付網、帯 板、棚板を交換し、適数にすれば成貝まで、育てられ る、海面アワビ幼生育成器となる。

【0004】この様に、カゴにシート袋を張り、海苔等の海藻の付着した網に、団扇状のビニルシートを括り、棚板に取付、帯板と交互に設置、キャップを付けた蓋を取付、ロープで浮力体に固定し、パイプをキャップに差し込み、アワビ幼生を入れ、植物プランクトンを流し込めば、海藻の放出する酸素で、活性化し、成長する、着生したら、モジ網に替え、自然海水を入れる、団扇状ビニルシート、帯板、棚板に着生すれば、着生面が増大し、付着珪藻、網付海藻を餌として育つ、カゴ穴より大きい、アワビ種苗になればモジ網を外し、棚板等を交換すれば、剥離作業等の手間が省け、海藻付網パイプからの餌供給で、一貫生産出来る、海中アワビ幼生育成器となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 海水遮断用シート、帯板、棚板、網、団扇状シート、投入用パイプを設置した、実施例を示す立面図である、

【図2】 蓋、取付の実施例を示す、側面図とカゴの平面図である、

【図3】 蓋とキャップ、パイプの実施例を示す平面図 と側面図である

【図4】 帯板と棚板、団扇状ビニルシートとロープ、 海藻付網の実施例を示す平面図である、

